



令和2年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和2年2月12日

上場会社名 株式会社ハークスレイ 上場取引所 東
 コード番号 7561 URL http://www.hurxley.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 青木 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部部长 (氏名) 遊上 利之 TEL 06-6376-8088
 四半期報告書提出予定日 令和2年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第3四半期の連結業績（平成31年4月1日～令和元年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	35,724	3.1	783	18.6	1,023	0.2	874	37.5
31年3月期第3四半期	34,644	△0.6	661	36.8	1,021	22.9	636	0.4

(注) 包括利益 2年3月期第3四半期 776百万円 (53.3%) 31年3月期第3四半期 506百万円 (△10.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	93.07	—
31年3月期第3四半期	67.79	67.72

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	37,611	55.5	20,863	55.5	20,863	55.5
31年3月期	36,006	56.6	20,402	56.6	20,393	56.6

(参考) 自己資本 2年3月期第3四半期 20,860百万円 31年3月期 20,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2年3月期	—	17.00	—	—	—
2年3月期 (予想)	—	—	—	18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和2年3月期の連結業績予想（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	2.3	1,200	36.6	1,500	15.0	920	0.1	97.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年3月期3Q	11,025,032株	31年3月期	11,025,032株
② 期末自己株式数	2年3月期3Q	1,615,234株	31年3月期	1,635,134株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年3月期3Q	9,401,378株	31年3月期3Q	9,388,798株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調にあるものの、米中の貿易摩擦やブレジット、中東地域での紛争など、世界各国の政治・経済の混乱により先行きは依然不確実となっております。当社グループが属する「食」の分野でも、第2四半期連結累計期間において昨年に引き続き発生した台風、洪水など水害や、10月1日からの消費税増税により消費者心理は節約志向となっており、一方で人件費の上昇傾向の中で、収益の獲得に向けた厳しい競争環境となっております。このような環境の中、当社グループは、お客様の立場に立った「食に対する安全」の追求を経営理念に据え、お客様の要望に応えられる商品力の強化とサービスの提供を進め、当社グループの収益力の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高357億24百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益7億83百万円（同18.6%増）、経常利益10億23百万円（同0.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億74百万円（同37.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①持ち帰り弁当事業

持ち帰り弁当事業においては、地域の皆様の豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求しております。

10月はご要望が多かった焼肉弁当をボリュームアップさせた「超（スーパー）焼肉弁当」を発売、11月は野菜たっぷりメニューの「中華丼」を発売いたしました。同時にプラスチック製のレンゲやスプーンを廃止し、環境負荷の低い木製先割れスプーンへ変更いたしました。中旬には人気漫画キャラクターのキン肉マンを起用し「一日一日をひたむきに生きる大人たちへ」をキーワードに「日替り母さん弁当」をPRし、ご好評をいただきました。12月は従来の「プチべんとう」をリニューアルし、話題の人気キャラクターの「すみっこぐらし」とコラボレーションした「すみっこぐらしべんとう」を発売いたしました。お弁当のふたには可愛いキャラクターのイラストが描かれ、オリジナルステッカー（全10種）を付けて展開いたしました。また、オードブルやバスケットシリーズ、ほっかすなックシリーズなどを対象に2,000円以上お買い上げで「オリジナルすみっこぐらしダイカットプレート」をプレゼントする「冬のすみっこぐらしキャンペーン」を実施し、大好評を得ることができました。

また、事業の拡大の一貫として令和元年12月9日に株式会社味工房スイセンの全株式を取得いたしました。株式会社味工房スイセンは、ケータリングパーティー、弁当、慶事料理を「おいしさに真心こめて」をスローガンに、洗練された四季折々の御料理とサービスにて、食に集う皆様に非日常のひとつときをお届けしております。今後、当社グループとのシナジーを発揮して更なる業績拡大を目指してまいります。

持ち帰り弁当事業は、売上高135億63百万円（前年同四半期比2.5%減）、営業利益8億47百万円（同4.1%減）となりました。

②店舗委託事業

店舗委託事業においては、テナントオーナーのニーズを的確に捉え、企業価値を向上するために、自社運営サイトである「店通（てんつう）」を通して店舗業界に対する当社ブランドの浸透と当社サービスへの信頼感の向上に取り組み、当社ブランドの浸透を着実に図ってまいりました。また、情報セキュリティマネジメントを強化することで健全で信頼性の高い組織創りに努め、2019年12月にISO/IEC27001を取得いたしました。三大都市圏を中心に優良物件を積極的に仕入れる一方、低採算店舗の解約等による物件稼働率の向上を図り、利益の向上に努めた結果、創業からの累計店舗契約数は3,200店舗以上の実績となり、稼働店舗数は820店舗を超えました。今後も1,000店舗の稼働を目指し、邁進しております。さらに、既存ビルから店舗ビルへのコンバージョンや新築物件のマスターリース等により、物件の資産価値の向上についても推進してまいりました。

店舗委託事業は、売上高187億40百万円（前年同四半期比4.0%増）、営業利益6億33百万円（同19.5%増）となりました。

③店舗管理事業

店舗管理事業においては、物件開発ビルオーナーのニーズを的確に捉え、資産価値を向上するための運用提案と各種サービスを積極的に展開してまいりました。当期の物件開発として、商業ビルを1棟建設・稼働いたしました。また、ビルの管理関連サービスに加え美容・医療のテナントオーナー等、従来の飲食業以外のテナントオーナー向けに物件のサブリースと業務コンサルティングによる収益機会の拡大に取り組みました。

店舗管理事業は、売上高5億50百万円（前年同四半期比19.6%増）、営業利益2億69百万円（同6.8%増）となりました。

④フレッシュベーカーリー事業

フレッシュベーカーリー事業においては、「ハロウィンパイ」をはじめとするハロウィン向け商品の発売や、「シュトーレン」「パネトーネ」「サンタパン」などクリスマス商品の販売を行い、ご好評をいただきました。また、工場内では作業工程の見直しを行い、経費の削減・品質向上・販売強化に努めてまいりました。

フレッシュベーカーリー事業は、売上高9億33百万円(前年同四半期比4.1%減)、営業損失30百万円(前年同四半期は営業損失44百万円)となりました。

⑤その他の事業

物流関連事業においては、FSSC22000認証取得と、生産・流通・販売の一气通貫での提供を強みとして、グループ外企業との取引拡大に向けて、物流・商流の両輪で営業活動に邁進してまいりました。現状に慢心せず、物流では更なる物流コストの適正化、商流では潜在ニーズの発掘や食品OEMの獲得に注力し、顧客との揺るぎない信頼関係を築いてまいりました。

その他の事業は、売上高19億36百万円(前年同四半期比51.2%増)、営業利益68百万円(同38.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は376億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億4百万円増加しました。これは主に土地が増加したことによるものです。

負債合計は167億47百万円となり前連結会計年度末に比べ11億42百万円増加しました。これは主に買掛金及び未払金が増加したことによるものです。

純資産は208億63百万円となり前連結会計年度末に比べ4億61百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和元年5月14日の「平成31年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,556	6,307
受取手形及び売掛金	1,479	1,700
商品及び製品	658	659
原材料及び貯蔵品	104	130
その他	917	1,118
貸倒引当金	△15	△19
流動資産合計	9,701	9,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,148	5,492
機械装置及び運搬具(純額)	376	492
工具、器具及び備品(純額)	289	323
土地	10,942	11,744
リース資産(純額)	4	42
建設仮勘定	301	173
有形固定資産合計	17,062	18,268
無形固定資産		
借地権	458	528
のれん	2	—
その他	113	131
無形固定資産合計	574	660
投資その他の資産		
投資有価証券	2,038	1,958
長期貸付金	13	10
敷金及び保証金	5,639	5,842
繰延税金資産	605	562
長期未収入金	552	542
その他	396	416
貸倒引当金	△577	△549
投資その他の資産合計	8,669	8,784
固定資産合計	26,305	27,713
資産合計	36,006	37,611

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和元年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,056	2,430
短期借入金	716	680
1年内返済予定の長期借入金	885	853
未払金	935	1,110
未払法人税等	142	144
未払消費税等	58	131
賞与引当金	178	161
その他	1,783	2,043
流動負債合計	6,755	7,556
固定負債		
長期借入金	3,897	4,012
長期預り保証金	4,195	4,179
退職給付に係る負債	32	62
繰延税金負債	—	119
資産除去債務	401	415
その他	322	401
固定負債合計	8,849	9,190
負債合計	15,604	16,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036	4,036
資本剰余金	3,980	3,971
利益剰余金	14,712	15,257
自己株式	△2,297	△2,269
株主資本合計	20,431	20,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△37	△136
その他の包括利益累計額合計	△37	△136
新株予約権	8	3
非支配株主持分	—	—
純資産合計	20,402	20,863
負債純資産合計	36,006	37,611

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成31年4月1日 至令和元年12月31日）
売上高	34,644	35,724
売上原価	26,780	27,673
売上総利益	7,864	8,050
販売費及び一般管理費	7,202	7,266
営業利益	661	783
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	31	28
受取賃貸料	126	120
業務委託契約解約益	128	73
持分法による投資利益	4	19
その他	140	109
営業外収益合計	433	351
営業外費用		
支払利息	18	16
賃貸費用	25	63
業務委託契約解約損	4	—
その他	24	32
営業外費用合計	73	112
経常利益	1,021	1,023
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	1	—
負ののれん発生益	—	108
受取補償金	34	32
その他	7	6
特別利益合計	43	148
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	23	16
減損損失	47	2
その他	4	4
特別損失合計	75	24
税金等調整前四半期純利益	989	1,147
法人税、住民税及び事業税	229	228
法人税等調整額	123	43
法人税等合計	352	272
四半期純利益	636	874
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	636	874

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日）
四半期純利益	636	874
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	△103
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	4
その他の包括利益合計	△130	△98
四半期包括利益	506	776
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	506	776
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。